



あけましておめでとうございます。今年が皆さまにとってよい年になりますように。
今年は午年(うま年)です。馬は「速さ」や「情熱」の象徴であり、午年はエネルギーで前向きな行動が成功を呼ぶ年だそうです。今年も新しいことに挑戦しつつ、前向きに成長していけたらいいですね。
教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。研究や研修にぜひお役立てください。教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日も利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

①「家庭、学校、職場で生かせる！ 自分と相手の非認知能力を伸ばすコツ」

中山芳一/著

(東京書籍 2021年発行)

点数化して測定することが難しい非認知能力をどのように見取り、どのように伸ばしていくのかという問いにしっかりと答えてくれる本です。

この本は、専門的な表現は使わずに、日常の生活に即して具体的に分かりやすく述べている実践本なので、教育・保育関係の方はもちろんのこと、子育て中の保護者の方にもお勧めします。特に、非認知能力を伸ばすための「意識づけのためのレンズ」三つは、子どものがんばった姿や過程のどこをどう評価して言葉かけをすればよいかが具体的に分かります。

学力テストで測れる認知能力だけを強みにして生き抜いていくことは難しい時代。この本を読んで、認知能力と非認知能力の両方を視野に入れた子育てや教育活動を考えてみませんか。

②「授業力&学級経営力 11月号」 (明治図書 2025年発行)

雑誌「授業力&学級経営力」11月号の特集は「通常学級でできる、使える特別支援のアイデア、アイテム140」です。サポートの必要な子どもたちの困り感を少しでも解消するために使えるアイデアや小道具を、学習課題や生活場面、困り感を抱える場面ごとに、たくさんの専門家たちが提案してくれます。すぐにでも導入できそうなアイデア満載の実用的な特集です。それぞれの専門家が自分の得意とする分野のアイデアをかいつまんで紹介してくれるので、たくさんの分野にさらりと触れることができます。そのうえで、子どもたちのワーキングメモリに配慮した学習支援についてもっと知りたいなど興味のある分野があれば、各専門家の著書などが参考文献として紹介されていますので、そちらを読めばより理解を深めることができます。

③「身近な薬物のはなし タバコ・カフェイン・酒・くすり」

松本俊彦/著

(岩波書店 2025年発行)

著者は薬物依存症に関する専門家で、近年、若者による市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)に関する発言や著述で注目されています。本書でもその面目が躍如としているのは、第7章「市販薬 セルフメディケーションは…」ですが、他のカフェインやアルコール、タバコ等

の人類として付きあいの長い依存症についても、いかにして人類がこれらの薬物（元来は薬物として用いられていた）に依存するようになり今日に至っているか、その歴史的な経緯を含めて詳述されており、たいへん面白く読み進むことができます。著者が本書を執筆するようになったそもそもの動機は、カフェインやアルコールなどの身近な薬物が引き起こす問題を取り上げた方が、人類と薬物との関係や依存症の本質に迫ることができると考えたから。著者によると薬物に「よい薬物」も「悪い薬物」もなく、問題なのは「悪い使い方」であるとのこと。また薬物を乱用する人は何か別の困りごとを抱えていることがほとんどで、「ダメ、ゼッタイ！」と禁止するだけでは、他の薬物に依存するだけになりがちとのこと。なので、薬物依存症治療についても「薬物をやめる/やめない」よりは、まずは生き延びてもらうことが重要で、抱えている問題についての心理治療的アプローチが不可欠となります。それにしても、酒・タバコ・くすりの身近な薬物依存やネット依存、ゲーム依存など、さまざまな依存症が問題となっていますが、本書を読むと人間がいかに依存症になりやすいかを思い知らされます。あなたも私も例外ではありません。人間の弱さを前提として依存症について考えてみたい方はぜひ読んでみてください。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	1月号	<p>【特集】1号まるごと 国語の授業「見取り」大全</p> <p>◇授業のエキスパートが「見取る」ときに考えていること</p> <p>◇場面別 見取りのキーポイント</p> <p>学級 授業開始時 音読 ペア学習 グループ学習 全体学習 学習の転移 振り返り・提出物 ICT 自由進度学習</p> <p>◇領域別 見取りのキーポイント</p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと（説明文・文学）</p> <p>【連載】◇生成 AI vs. 作文教育 倫理とは「生成 AI との関係の持ち方」</p> <p>◇日本語学が拓く国語科教材分析 コーパスを活用して多角的に分析する</p>
社会科教育 (明治図書)	1月号	<p>【特集】その授業、間違っていないか？NG 指導から考える授業改善</p> <p>◇その授業、間違っていないか？NG 分析から導く社会科授業の新公式</p> <p>◇やってはいけない！社会科授業の NG パターン</p> <p>◇イマドキ授業に潜む落とし穴と改善ポイント</p> <p>主体的・対話的で深い学び 個別最適な学び 自由進度学習 ICT 活用 1人1台端末</p> <p>◇少し変えるだけで上手くいく！「時間内に終わらない」「計画通りに進まない」からの改善ポイント</p> <p>◇使える知識に転化する！教師と子どもの「わかったつもり」からの改善ポイント</p> <p>◇〔授業最前線〕NG 指導からの授業改善プラン（小・中・高）</p> <p>【連載】◇授業づくりの教科書 不屈の名城 熊本城…400年の歴史</p> <p>◇「個」の学びを豊かにする！ 「ガヤ」が生む学びの可能性</p> <p>◇私の中学経済授業30時間 キャラメルのみずからはじまった授業</p> <p>◇歴史教育はどう変わるか 地域調査を伴った学習を社会科として考える</p>

<p>数学教育 (明治図書)</p> <p>1月号</p>	<p>【特集】全解説 数学科の自己調整学習</p> <p>◇自己調整学習の3つの段階と要素</p> <p>◇日常の授業でできる 自己調整する力を高める指導の工夫</p> <p>◇メタ認知と自己調整学習</p> <p>◇実践事例で見る数学科の自己調整学習</p> <p>◇生成 AI と自己調整学習</p> <p>【連載】◇学びをリッチ化する数学授業ブラッシュアップ</p> <p>◇テストづくりの技術を磨く その理由を実際に計算して説明しよう！</p>
<p>理科の教育 (東洋館出版社)</p> <p>1月号</p>	<p>【特集】単元の指導計画を再考する</p> <p>◇単元の指導計画の意義とその在り方</p> <p>◇単元のまとまりを踏まえた授業実践例</p> <p>(小学校) 子どもが磁石の面白さに浸る理科授業のデザイン 他</p> <p>(中学校) 考察における科学的な表現の育成を目指す単元の取り組み</p> <p>相互評価活動と考察記述の定型化指導を用いた学習活動を通して 他</p> <p>(高等学校) 単元の指導計画を見直ししていく中で学んだこと 他</p>
<p>英語教育 (大修館書店)</p> <p>1月号</p>	<p>【第1特集】中教審外国語 WG 発足！ 次期課程の課題と論点を考える</p> <p>◇教師が主体的に授業づくりを行える学習指導要領に</p> <p>◇A I は英語教育を変えるのか</p> <p>◇中教審の審議体制と論点を整理する</p> <p>◇次期学習指導要領改訂に向けた論点</p> <p>◇「言語活動が少ない」問題の解消に向けた現実的提案と挑戦的提案</p> <p>◇個別最適な英語の学びに求められる視点</p> <p>◇英語教育政策の読み解き方</p> <p>【第2特集】「仲介」活動で高める言語・異文化への気づき</p> <p>◇CEFR-CV の「仲介」と英語教育</p> <p>◇「仲介」の力を育むリテリング・翻訳の活動例</p> <p>◇答え合わせからの脱却 Mediation (仲介) が育む論理と協働</p>
<p>道徳教育 (明治図書)</p> <p>1月号</p>	<p>【特集】学習指導要領改訂へ！「超解説」これからの道徳教育キーワード</p> <p>[解説]学習指導要領改訂へ！今、何が話し合われているのか</p> <p>[提案]「論点整理」から考える、これからの道徳教育</p> <p>◇変動する社会で「人間として自分らしくどう生きるか」</p> <p>「豊かな学び」には道徳性の育成がカギになる</p> <p>◇「よさ」を考える道徳教育 わかりやすい内容項目を求めて</p> <p>◇道徳教育をより充実させる方策として</p> <p>◇指導方法の多様性としばり</p> <p>◇よりよい生き方・在り方を自ら探究し続ける道徳的価値観の育成</p> <p>◇子どもの学びと指導方法の可能性</p> <p>◇考え、議論する道徳の徹底 子どもと教員の学びを深めるために</p> <p>◇当事者意識をもち、主体的に判断し、議論する道徳へ</p> <p>◇「考え、議論する道徳の徹底」＝教員の力の高まりへの期待</p> <p>[超解説]これからの道徳教育キーワード</p> <p>◇個別最適な学び ◇自己調整力 ◇探究 ◇エージェンシー</p> <p>◇ウェルビーイング ◇多様性 ◇SDG s ◇情報活用能力</p>

<p>授業力&学級経営 力 (明治図書)</p> <p>1月号</p>	<p>【連載】全解説 子どもの「問い」でつくる授業</p> <p>◇子どもの「問い」をどう引き出す？</p> <p>◇抱いた「問い」を、どう言葉にさせる？</p> <p>◇質の高い「問い」を誘発するために、どう問いかける？</p> <p>◇「問い」と「気づき」を、黒板でどう生み出す？</p> <p>◇「問い」をもてない子どもと、どう向き合う？</p> <p>◇子どもの「問い」を、どう選び、まとめる？</p> <p>◇子どもの「問い」をどう広げ、深める？</p> <p>◇単元を貫く「問い」を、どうつくり、どうつなぐ？</p> <p>◇中心となる「問い」を、どう立てる？</p> <p>【連載】◇「働き方改革」のマインドセット&実践事例</p> <p>◇遠足や運動会の写真、子どもの肖像権を考える</p>
<p>生徒指導 (学事出版)</p> <p>1月号</p>	<p>【特集】生徒の将来、生徒のいま</p> <p>◇子どもの「いま」と「将来」 教育学的視点から</p> <p>◇「子どものため」という名のお節介/内田良</p> <p>◇生徒の将来といまの幸せに寄与する学校の意義/石井英真</p> <p>◇学校教育を通して自分らしい感性を「発見」する</p> <p>◇生成 AI を通して広げる「創造的な学び」の可能性</p> <p>【巻頭インタビュー】子どもの「しんどさ」を受け止める社会へ 不登校35万人時代に求められる支援とまなざし/生駒知里</p> <p>【特別企画】非認知能力育成の現在地 学校現場の実践が示すこれから</p> <p>【連載】◇日本の学校の常識 生徒との連絡手段どう考えてる？</p> <p>◇震災を語り継ぐ「いのちの学習」「心の健康教育」として捉え直す</p> <p>◇“敵”とまで思っていた先生と、共通の目標を見つけて手を取るまで</p> <p>◇全国フリースクール通信「不登校をどうすごすか」離島・奄美での実践</p> <p>◇いじめ撲滅劇で見た生徒の本音と成長 生徒会で育つ学びの時間</p>
<p>教職研修 (教育開発研究所)</p> <p>1月号</p>	<p>【特集】次期学習指導要領「論点整理」を読み解く 子どもの学びの未来像を描く</p> <p>◇中教審「論点整理」を読むに当たって</p> <p>◇子どもに実現したい二つの学びの姿 これからの学校がめざすもの</p> <p>◇基本的な考え方：三つの方向性</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の実装/多様性の包摂/実現可能性の確保</p> <p>◇質の高い、深い学びの実現①</p> <p>中核的な概念/学びに向かう力、人間性/見方・考え方</p> <p>◇柔軟な教育課程編成 多様性の包摂/調整授業時数</p> <p>◇高等学校 教育課程の柔軟化/単位制/産業教育/入学者選抜</p> <p>◇質の高い、深い学びの実現② デジタル学習基盤</p> <p>◇情報活用能力の抜本的向上</p> <p>質の高い探究的な学び/情報の領域・情報・技術科</p> <p>◇「余白」の創出 時数の見直し/構造化・表形式化・デジタル化/教科書</p> <p>◇学習評価の在り方 指導と評価の一体化/主体的に学習に取り組む態度</p> <p>◇カリキュラム・マネジメント/幼児教育/子供のより主体的な社会参画</p> <p>◇特別支援教育 ◇要点2ページ濃縮！配布用資料</p>

初等教育資料 (東洋館出版社)	1月号	<p>【特集Ⅰ】学習指導要領実施状況調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実① 国語科・社会科・算数科・理科・音楽科</p> <p>【特集Ⅱ】生活 身体を通した心を動かす体験</p> <p>◇身近な人々、社会及び自然に関わる楽しさを味わう学習活動</p> <p>◇心を動かす体験を生み出す学習環境づくり</p> <p>事例1 スタートカリキュラムの考えを生かした生活科の環境づくり</p> <p>事例2 体験活動と表現活動の相互作用</p> <p>事例3 豊かな体験にするデジタル学習基盤の活用</p> <p>事例4 子供の思いや願いが大切にされ、気づきが深まっていく授業づくり</p> <p>【連載】◇指導主事アイ 「やってみたい」子供の学びを支える生活科の授業づくり ◇子供が輝く学校づくり 「やってみよう!」「やってみたい!」の輪が子供にも教師にも自然と広がる「仕掛け」を軸として</p>
中等教育資料 (学事出版)	1月号	<p>【特集】[高等学校]各教科等を交えて語り合う④～学習評価の充実～</p> <p>◇高等学校国語科における学習評価の充実</p> <p>◇高等学校芸術科における学習評価の充実</p> <p>◇高等学校情報科における学習評価の充実</p> <p>◇高等学校福祉科における学習評価の充実に関する包括的考察</p>
実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	1月号	<p>【特集】学校における性教育の現状と課題</p> <p>◇[座談会] 先生!学校でこそ性教育をお願いします!</p> <p>◇[資料]今の時代はマスト!学校での「性教育」</p> <p>【連載】</p> <p>◇思春期の子どもを支える中学校通級 「個別指導」だからこそ考えるべきこと</p> <p>◇通常学級におけるポジティブな日常 使いたくなる外国語が育つ教室</p> <p>◇ちゃんと説明できる?特別支援教育のきほん⑨ 特別支援学級</p> <p>◇居場所をつくるタスク管理 発達障害・休職から生まれた仕事術</p> <p>◇全国のキラリと光る実践紹介</p> <p>丁寧な言葉遣いを目指した個別学習における言葉の学習</p>
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	1月号	<p>【特集】ウェルビーイング ～幸せな教育のカタチ～</p> <p>◇教育分野における「ウェルビーイング」という言葉の広がりの可能性</p> <p>◇自分の「やりたい」「知りたい」をかなえる学びづくり</p> <p>◇作業療法士と連携した「まち OT」の取り組み</p> <p>◇「自分にもできる!」ウェルビーイング</p> <p>◇生徒一人ひとりの「自分らしさ」を支える軽井沢高校の挑戦</p> <p>◇合言葉は「ゆっくり・のんびり・まったり」</p> <p>◇「自己理解」と「周囲の理解」の相互的なアプローチから、児童生徒一人一人の豊かな生活を育む</p> <p>◇地域とむすぶ</p> <p>◇「させる」指導から「支え、任せる」指導へ</p> <p>◇誰もががあんきに行ける学校のカタチ</p> <p>◇ウェルビーイングの向上を目指す学校づくりと教師の役割</p> <p>◇ウェルビーイングな学校って何?</p>

特別支援教育 (東洋館出版社)	冬号	<p>【100号記念特集】未来を創る子供たちへ！</p> <p>座談会1：これからの特別支援教育に期待すること</p> <p>座談会2：今後の特別支援教育の充実に向けて</p> <p>◇『特別支援教育』100号に寄せて</p> <p>◇特別支援教育の明日へ ―視学官・調査官の思い―</p> <p>◇特別支援教育に関する学習指導要領の変遷</p> <p>◇季刊『特別支援教育』と振り返る特別支援教育の歩み</p> <p>【連載】◇子供たちの長所・強みを引き出すためのICT活用</p> <p>◇子供たちを支えるネットワーク 発達障害情報・支援センターの取組</p> <p>◇卒業生は今 人生の経験を通して紡ぐ歌／岡本知高（ソプラニスタ）</p>
学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)	1月号	<p>【特集】情報活用能力育成のために、学校図書館に何ができるか</p> <p>◇次期学習指導要領を見据えて</p> <p>◇学校図書館を「知の拠点」から「創造の拠点」へ 学校図書館とファブスペースの連携が創る探究基盤</p> <p>◇学校図書館と情報教育の協働の再構築を！</p> <p>◇情報活用能力育成のための中核として、学校図書館のあるべき姿</p> <p>◇学びの本質を変える「ふじみ探究ノート」</p> <p>◇学校図書館の情報活用の取組み 都立学校の事例から</p> <p>◇探究的な学びを支える情報活用能力をしっかりと身に付けさせるために 「情報資源を活用する学びの指導体系表」の改訂を通して</p>
高校教育 (学事出版)	1月号	<p>【連載】2026年の高校教育 大きく動くか、高校改革</p> <p>◇転機を迎える高校改革と行政・学校現場</p> <p>◇高校生に「未来を設計する力」を</p> <p>◇保護者が考える2026年の高校教育と高校への期待</p> <p>◇人口減社会 魅力ある地域づくり</p> <p>◇世の中を明るくする高校生たち</p> <p>【巻頭インタビュー】根のある教育による「ひとづくり」がまちをつくる ／松葉登美（石見銀山 群言堂創業者）</p> <p>【連載】◇2040年、教育の旅 2040年の生徒指導 文化祭編</p> <p>◇高校現場のICT活用 学校全体で「探究デー」に取り組む</p> <p>◇「探究」を探究する コーディネーターが支える探究活動</p>
学校事務 (学事出版)	1月号	<p>【特集】2026年の学校事務を展望する</p> <p>◇良質な実践の蓄積と、学び続ける事務職員</p> <p>◇教育の理想を支えるリソースマネージャーとして</p> <p>◇働き方改善とマネジメント 事務長の取り組み方を研究しよう</p> <p>◇学校事務と学校事務職員の現状とこれから</p> <p>◇どのようにして経営職としての事務職員になるか いくつかの論点の検討</p> <p>◇学校事務を仕分け、真に向き合うことに時間とアタマを使おう</p>
指導と評価 (日本教育評価研 究会)	1月号	<p>【特集1】学びの充実に向けた教育DX</p> <p>◇教育DXは何をめざすのか</p> <p>◇「自立した学習者」の育成に向けて</p> <p>◇デジタルとアナログのほどよいバランスを求めて</p>

【特集2】スクールロイヤーの活用

◇スクールロイヤーの仕事とは

◇リーガルマインドを生かした学校体制づくり 不祥事防止の研修会

◇不登校の対応 スクールロイヤーができること

◇いじめを行った児童生徒への対応

◇保護者対応におけるスクールロイヤーの活用と問題点